

# 女と竜

シリーズ～終末を生きる～

ヨハネの黙示録12章

# ヨハネの黙示録12章

また、天に大きなしるしが現れた。一人の女が身に太陽をまとい、月を足の下にし、頭には十二の星の冠をかぶっていた。女は身ごもっていたが、子を産む痛みと苦しみのため叫んでいた。また、もう一つのしるしが天に現れた。見よ、火のように赤い大きな竜である。これには七つの頭と十本の角があって、その頭に七つの冠をかぶっていた。竜の尾は、天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げつけた。そして、竜は子を産もうとしている女の前に立ちはだかり、産んだら、その子を食べてしまおうとしていた。女は男の子を産んだ。この子は、鉄の杖ですべての国民を治めることになっていた。子は神のもとへ、その玉座へ引き上げられた。女は荒れ野へ逃げ込んだ。そこには、この女が千二百六十日の間養われるように、神の用意された場所があった。

さて、天で戦いが起こった。ミカエルとその使いたちが、竜に戦いを挑んだのである。竜とその使いたちも応戦したが、勝てなかった。そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった。この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。地上に投げ落とされたのである。その使いたちも、もろともに投げ落とされた。

わたしは、天で大きな声が次のように言うのを、聞いた。「今や、我々の神の救いと力と支配が現れた。神のメシアの権威が現れた。我々の兄弟たちを告発する者、昼も夜も我々の神の御前で彼らを告発する者が、投げ落とされたからである。兄弟たちは、小羊の血と自分たちの証しの言葉とで、彼に打ち勝った。彼らは、死に至るまで命を惜しまなかった。このゆえに、もろもろの天と、その中に住む者たちよ、喜べ。地と海とは不幸である。悪魔は怒りに燃えて、お前たちのところへ降って行った。残された時間が少ないのを知ったからである。」

竜は、自分が地上へ投げ落とされたと分かると、男の子を産んだ女の後を追った。しかし、女には大きな鷲の翼が二つ与えられた。荒れ野にある自分の場所へ飛んで行くためである。女はここで、蛇から逃れて、一年、その後二年、またその後半年の間、養われることになっていた。蛇は、口から川のように水を女の後ろに吐き出して、女を押し流そうとした。しかし、大地は女を助け、口を開けて、竜が口から吐き出した川を飲み干した。竜は女に対して激しく怒り、その子孫の残りの者たち、すなわち、神の掟を守り、イエスの証しを守りとおしている者たちと戦おうとして出て行った。そして、竜は海辺の砂の上に立った。

# 女と竜 ～メシア誕生まで～

- 子を生まみ出そうとしている「**一人の女**」
  - ・ 太陽・月・十二の星はイスラエル民族を思わせる
- 女は身ごもり、産みの苦しみをしている
  - ・ メシアの誕生とそれまでの苦しみは、バビロン捕囚とその後のイスラエルの困難期か？
- 「**赤い大きな竜**」
  - ・ 七つの頭・十本の角・七つの冠は知恵と力、権力を象徴している
  - ・ 「竜の尾は、天の星の三分の一を掃き寄せて、地上に投げつけた」>まるで神様のような力を持つ

# 男の子と竜そして女 ～メシア昇天まで～

- 竜は産まれてくる子を滅ぼそうと狙っていた
  - ・イエス様誕生の際のヘロデ大王の嬰兒虐殺
- 女は「男の子」を産んだ
  - ・この子(イエス・キリスト)は「鉄の杖」(真の正義)によって世界を支配する
- 竜に滅ばされる前に子は天に上った
  - ・「子は神のもとへ、その玉座へ引き上げられた。」
- 女は竜の前から逃げ、主にかくまわれた
  - ・神様が竜の攻撃から守られた
    - ＞男の子を追って竜が天に上る

# 天上の戦い ～メシア昇天直後～

- ミカエルと竜が戦い、ミカエル側が勝った
  - ・「そして、もはや天には彼らの居場所がなくなった」  
＞それまでは居場所があった？
- 竜は地上に投げ落とされた
  - ・「この巨大な竜、年を経た蛇、悪魔とかサタンとか呼ばれるもの、全人類を惑わす者は、投げ落とされた。」
- サタンは天で人間を告発していた
  - ・「我々の兄弟たちを告発する者、昼も夜も我々の神の御前で彼らを告発する者」(10)
  - ・ヨブ記のストーリーを思い出す

# 天上における賛美 ～昇天から終末まで～

- メシアが父の右に座されたことで、サタンは人間を告発できなくなった
  - ・「今や、我々の神の救いと力と支配が現れた。神のメシアの権威が現れた。我々の兄弟たちを…告発する者が、投げ落とされたからである。」
- サタンは直接信者を攻撃したが、彼らは甘んじて殉教を選んだ
- 悪魔は残された時間が少ないことを知り怒りに燃えている
  - ・「悪魔は怒りに燃えて、お前たちのところへ降って行った。残された時間が少ないのを知ったからである。」



# 女を追う竜 ～昇天から終末まで～

- 地上に落とされた竜は女の後を追う
  - ・この時点で女は肉のイスラエル(イスラエル民族)から**霊のイスラエル(教会)**に変わっている
- 女は荒野に逃げ、3年半養われた
  - ・「女には大きな鷲の翼が二つ与えられた。荒れ野にある自分の場所へ飛んで行くため」
  - ・蛇は女を押し流そうとしたが、大地が助けた
- 竜は激しく怒り、信仰者に向かっていった！
  - ・「神の掟を守り、イエスの証しを守りとおしている者たちと戦おうとして出て行った。」

**終末、サタンは信仰者を激しく攻撃する！**

# 竜・メシア・女(イスラエル)

時期	竜	メシア	イスラエル
～メシア誕生	天にも居場所がある		メシアを産む 苦しみ
メシア誕生	メシアの命を狙う	誕生・(受難・復活)	主にかくまわれる
メシア昇天	メシアを追って天へ	昇天	
	天使軍団と戦い負ける		霊のイスラエル(教会)
～現在	地に落とされる		主が守る
終末	時が少ないので激しく攻撃する		